

〇〇さま

△△香港ご提案書 (Ver1.0)

・△△オークション、日本時間 6/21 (金) AM10:00 から **なお提案書ではコインの写真を提示していますが、著作権に配慮し本資料では削除しています)**

上記オークションにつき、以下提案させていただきます。

30002

アンナン 1841 年、嗣徳通宝 5 銭銀貨

NGC-MS63 (未使用)

オモテに 5 匹のコウモリが描かれた、いわゆる「ファイブ・バット」で人気がある銘柄です、通常の嗣徳通宝 5 銭銀貨より高いです。自然なトーンが重厚感を与えています、4 月に香港で開かれたオークションで、同銘柄・同状態が 2 枚出てきましたがハンマープライスは 38,000/44,000 ドルでした、本貨は打ちがシャープですし、トーンもこっちのほうがきれいです、なので 50,000 ドルほどまで競ると思います。また現在、銀座コインさんから紹治通宝の 5 銭 (NGC-MS61) が 345 万円で売りに出っていますが、そのコインは両面文字の「兆民頼之」です、コインの相場は本銘柄のほうが数段上です。

最大ビッド：50,000 ドル

最大ビッドで落札した場合の総支払額の目安：1000 万円

30073

チベット 1919 年 20 スラン金貨

PCGS-MS64+ (未使用+)

アジアの金の中でもデザインが面白く、むかしから人気があるコインです。MS64+は PCGS の単独最高鑑定です、MS63 まではたまに出てきます、4 月の香港で MS63+が出てきて 14,500 ドルでしたが MS64+は僕も初見です。この銘柄はここ 3 年ほど落ち着いた値動きですが、希少なコインなのでこれからが楽しみです。

最大ビッド：25,000 ドル

最大ビッドで落札した場合の総支払額の目安：500 万円

30153

香港 1866 年ビクトリアの 1 ドル銀貨、プルーフ

NGC-PR65 Cameo (FDC)

プルーフ貨は写真写りにバラツキがあり判断が難しいのですが、サイトを見る限り本貨は素晴らしいブルートーンが乗っているように見えます、前のロット # 30152 も

NGC-PR65 ですが、NGC 社の判断通り本貨のほうが Cameo 感が強く状態は突出しているように見えます、余談ですが#30153 は贈呈用貨幣、#30152 のほうは通常貨の発行に先立って 1865 年にごくわずかの未発行された試铸貨です、希少性は#30152 のほうが上ですが、美しさは本貨#30153 が少し上です。なお本貨 NGC-PR65 Cameo は NGC/PCGS 通して最高鑑定品です。直近の落札実績ですが、先日のタイセイで同年銘 NGC-PF64 が出てきましたが、HP は 800 万円、総支払額ベースで 932 万円でした。

ハンマープライスの目安：78,000 ドル

総支払額の目安：1570 万円

(株) 銀座なみき FP 事務所

2023.6.13